（様式1）　令和　8　年度

8.11.19
介護保険

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2894000484		
法人名	プレゼンス株式会社		
事業所名	みのりグループホーム城陽		
所在地	兵庫県姫路市北条梅原町50番地　プレゼンスビル1階		
自己評価作成日	令和8年10月20日	評価結果市町村受理日	令和8年　月　日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/28/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2894000484-00&ServiceCd=320

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人ぱ・まる
所在地	堺市堺区三宝町二丁131番地2
訪問調査日	令和8年11月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様の介護度や認知症の状態に応じ柔軟な対応を心がけております。協力医療機関である病院や薬局、訪問看護等と連携を図り、利用者様の健康管理を行っております。毎日のラジオ体操・リハビリ体操・口腔体操、バイタルチェックを実践し、利用者様の体力・筋力維持の向上を目指しております。毎週日曜日には、手作りの食事を提供し、好評いただいております。定期的に催し物を企画し、利用者様にもお手伝いいただきながら、笑顔多い時間を過ごしていただいております。毎月、お写真と共に状態報告書をご家族様にお送りしております。
当グループホームは利用者様と職員の距離が近く、利用者様が不安や寂しさを感じることのないよう努めております。ご家族様とも、対話を通じ、情報交換を行い、利用者様のより良いケアに繋がるよう努めております。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

季節にちなんだ外出が行われており、利用者も戸外で季節感や外気に触れる活動を楽しまれています。施設内イベントでも、縁日風の夏祭りイベントや運動会等、利用者参加型で職員と一緒に楽しまれる機会が定期的に設けられています。利用者は、楽しんだ様子を家族等にも報告されており、利用者の思いに残る活動となっています。施設内活動でも、利用者が一緒に参加できる、役割を持てる日中活動を大切にされており、利用者の活動と自立の維持に努められています。地域との関係性、交流を大切にされており、地域の中学生の職業体験も受け入れ、体験期間中は、利用者も孫世代との活動、交流を楽しまれていました。近隣社会資源を活用した買い物外出や、近隣保育所との交流では保育所行事へ利用者が見学に行く等、利用者が地域と接する機会、地域との幅広い交流に取り組まれています。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている （参考項目：9,10,19）		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）		1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている （参考項目：11,12）		1. ほぼ全ての職員が
		○	2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

自己評価および第三者評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	第三者	項　目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当事業所の基本理念である『地域で生活できる馴染みの空間を大切に　安心と安全と安らぎのある暮らしのお手伝いをいたします』を毎朝礼で唱和し、スローガンと共に職員と共有し、職務に活かせるように努めています。	施設理念は、職員アンケートを踏まえた会議で策定されています。事業所理念を踏まえ、利用者と職員がゆったりと過ごせる時間帯を設ける事で、利用者の安心に繋げられるよう努められています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内清掃参加や近所の公園で行われる保育所の運動会を利用者様と共に見学したり、地域の一員として交流できるよう努めています 。昨年に引き続きトライやるウィークの受け入れをさせていただき、地域の中学生の方々とも交流させていただいております。近所の方にお会いした際は、会話を通し交流させていただいております。	地域との関係性、交流を大切にされており、地域の中学生の職業体験も受け入れ、体験期間中は、利用者も孫世代との活動、交流を楽しまれていました。近隣社会資源を活用した買い物外出や、近隣保育所との交流では保育所行事へ利用者が見学に行く等、利用者が地域と接する機会、地域との幅広い交流に取り組まれています。地域の一斉清掃時は、利用者・職員も参加されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設見学の方や利用者ご家族からのご相談や問い合わせに応じ、支援方法をご案内させていただいており。またお困りの方から、電話相談を受けることもございます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を二ヶ月に一回開催し、利用者様ご家族や地域包括センターの方に、ご利用状況やサービス内容について報告しております。会議において、ご意見を頂戴し、より良いケアに繋がるよう努めております。	地域包括支援センター・民生委員・家族・利用者・看護師等の参加で、対面にて開催されています。運営推進会議では、施設内の活動の在り方や、イベント等についての意見聴取や、参加に向けた取組検討等も行われています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括センターの方には運営推進会議にご参加いただき、施設の取り組みをご報告し、困りごと等相談させていただいております。必要に応じ、市の担当課に、相談やご意見、指導をしていただいております。	運営推進会議を中心に、地域包括支援センターとの情報共有・情報交換が行われています。	

自己	第三者	項目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会・研修を年4回行っております。課題や問題がある場合は、都度、朝礼やミーティングで話し合い、身体拘束しないケアに取り組んでいます。	3ヶ月毎に身体拘束にかかる適正化委員会が開催されており、委員会の内容は毎月の会議の場で、職員全体に周知されています。拘束にかかる研修は年4回行われており、研修では事例検討等も行われています。全職員がチェックリストによる振り返りに取り組まれており、支援の中で不適切な関わり方となっていないか、自身の介護を見つめ直す機会になっています。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会・研修を年2回実施しております。また、外部の研修を受講し、受講内容を職員に共有・周知しております。職員の言動や行為が虐待に繋がらないよう、互いにチェックできる体制づくりを心がけ、利用者様の入浴や更衣の際は細かな異変も察知できるよう努めております。	6ヶ月毎に身体拘束にかかる適正化委員会が開催されており、委員会の内容は毎月の会議の場で、職員全体に周知されています。拘束にかかる研修は年2回行われており、研修では事例検討等も行われています。全職員がチェックリストによる振り返りに取り組まれており、支援の中で不適切な関わり方となっていないか、自身の介護を見つめ直す機会になっています。	
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	来訪者や職員の目の届くところに、成年後見制度についての講習会の案内やパンフレットを配置し、いつでも学べるようにしております。必要な方には、制度の案内をさせていただくこともございます。	利用者の状態や背景を踏まえ、家族等にも必要な準備や方法の情報提供等が行われています。施設内で、利用者の権利を侵害しないための勉強会が行われています。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際にはお時間をいただき、利用契約・重要事項・プライバシー保護等の説明を行い、納得ご理解いただいた上で契約していただいております。また、疑問や不安、お困りごとがある際は、随時電話や対面、メール等でも対応させていただいております。	契約時には、利用料金他金銭的な総額目安金額も示されており、利用者・家族がイメージしやすいようになっています。パンフレット等で、利用に際し必要な物や準備等も、わかりやすく具体的に伝えられています。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には、運営推進会議や病院受診時、面会時等に対面にてお困りごとや要望、ご意見などお伺いするように努めております。 利用者様にも日頃からお話をお伺いするようにしております。いただいたご意見は職員間で共有し、ミーティング等で話し合い反映させて頂いております	日常から、利用者の想いや、やりたい事を大切にした支援となるよう配慮されています。手作り献立の際は、利用者の意向が実現出来る献立作りが行われています。	

自己	第三者	項　目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼や、毎月の職員ミーティング等で 意見や提案を受け付けております。また、日頃から、互いに話し合いを心がけ、随時意見交換しております。	日々のミーティングや会議の場が、職員が意見を表明できる場となっています。職員が主体となって、施設内環境の整備や改善が行われており、利用者も職員もすごしやすい環境構成の実現に向けて取り組まれています。職員の意見を基に、記録様式や手法の改善に繋げられた事例が確認できました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間や給与水準について、やりがいや勤労意欲の向上に繋がるように改善しています。職員個々の状況にあった、シフト調整や、環境整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々のケアの様子を視察しております。一方的な見方にならぬよう、管理者やリーダー、本人とも話し合い、必要な職員には研修参加の機会を提供しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や勉強会、グループホーム連絡会への参加を促しております。また、他施設の見学や話を聞く機会を作っています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にはご本人様と面会し、お話を伺ってからご契約していただいております。入居後は随時、対話を通し、不安や要望がないか伺い、ご本人様の思いをケアに活かせるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の面談や契約時、入居時などご家族様の思いをお聞きしております。ご家族様が話しやすい環境作りを心がけております。		

大阪府・京都府・奈良県選定　兵庫県認証　地域密着型サービス外部評価機関　一般社団法人　ぱ・まる

自己	第三者	項目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様の思いと、利用者様の思いをそれぞれ伺い、介護施設の経験から「その時」にあった支援のご提案を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者様と毎日対話し、信頼のある関係性を築いております。職員の多くはたくさんの時間を利用者様と共に過ごしており、時には利用者様から生活の知恵や歴史を教えていただいたり、作業の手伝いをしてくださっています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院の受診をご協力していただいております。また、ご家族に良いことも悪いこともご相談させていただき、利用者様のより良い生活に尽力いただいております。		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前からかかられている病院や歯科クリニックをご希望される方には、そのまま受診いただいております。馴染みの美容室に行かれてる方もいらっしゃいます。友人知人からのお電話や面会で交流していただいています。	家族等との外出・外食・外泊が再開継続されており、利用者も楽しみにされています。家族との外出時には、利用者が行きたい場所、思いのある場所へも出かけられています。旧知の知人・友人等との面会等もあり、交流が継続されています。手紙による交流支援も行われています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体調の良い方は朝から夕までほとんどホールに出て、利用者様同士や職員と談笑しながらお過ごしです。利用者様が過ごしやすいよう、座席を移動させ、交流しやすいようにしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用契約終了後も、ご本人様やご家族様に様子をお伺いするようにしております。また、可能な方には面会にも伺っております。		

自己	第三者	項目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人お一人に話を聞き、どのような希望をお持ちなのか伺っております。また、日頃の会話や言動、仕草等から思いや意向を把握するよう努めております。	日常から、利用者の想いや、やりたい事を大切にした支援となるよう配慮されています。利用者の言葉や様子から把握した内容は、記録に残し、職員間での共有に繋げられています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシートを利用し、これまでの生活歴や病歴、特性等を把握しております。また、入居時にご家族様に利用者様の現在の生活に至るまでの来歴を専用シートにご記入していただいております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の様子を日常的に職員が近くで様子観察・記録しております。心身状態や有する力を職員全体で共有・把握することで、利用者様に対し新たなケアの導入に役立てております。		
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の課題やケアのあり方について、ご家族と、できる限り話し合っております。また、都度、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・福祉用具の方にもアドバイスをいただきながら介護計画に反映しております。	利用者の意向を把握し、関係する職員、必要に応じて医療職等の意見も踏まえたカンファレンスを経て、計画策定に繋げられています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアについて、実践や経過・結果等、個別記録に記入するよう努めております。職員間でも引き継ぎ時や、朝礼、ミーティング等で共有し、介護計画の見直しに活かしております。また、介護計画のモニタリングを行い、計画の進捗状況を把握しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々のニーズに、利用者様やご家族様の状況を伺いながら、他施設、医療関係者、福祉用具の方にもご協力いただき、あらゆる角度から、柔軟な支援やサービスに繋がるよう努めております。		

自己	第三者	項目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご近所や地域包括センター、他施設の方から、地域の情報収集を行い、地域資源を把握するようにしております。利用者様が地域と繋がりを持てるよう努めております。		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関はご本人様・ご家族様のご希望機関への受診を基本とし、嘱託医の往診は月2回、看護師の訪問が週3回、歯科医師往診が月2回あり、適切な医療を受けられるよう支援しております。	かかりつけ医は、利用者の意向で決定されています。協力医療機関利用の場合は、毎月2回の往診があります。希望者には月2回の歯科往診があります。週3回の看護師による健康観察が行われており、看護師が急変時等のオンコール体制も担っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は利用者様の細かな変化や気づきを、訪問看護師に共有・相談しております。利用者の体調不良時には、週3回の訪問日以外でも対応しています。		
32	(15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入院時には、ご家族様や医療機関へ情報提供しております。入院中にも医療機関やご家族様と連絡を取り合い、退院前には退院カンファレスに参加し、利用者様の退院後のケアの仕方や注意点について話し合いを行っております。入院期間外でも、地域連携室等に不定期に訪問し、関係づくりを心がけております。	入院時には、利用者情報を提供し、退院前にはカンファレンスにも参加した上で、退院後の支援が可能であるかどうかの検討も行われた上で、退院後支援計画策定に繋げられています。	
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重症化や終末期の支援について、利用契約の際、ご本人様・ご家族様に説明を行い、ご希望を伺っております。事前確認書にもご記入いただいております。お体の状況の変化時には再度、ご本人様・ご家族様・医療機関・職員で話し合い、出来ること出来ない事を説明し、同意を得たうえで看取りまでの支援を行っております。	利用者の希望がある場合には、施設での看取りにも対応されており、最後まで施設で過ごせる対応が行われています。利用者が重度化した場合には、個々の利用者の事情や背景、現状を踏まえ、その後の支援について丁寧に話し合われており、利用者ニーズを踏まえ、利用者の意向を実現出来る他施設や医療機関等への接続や連携が行われています。利用修了後も、面会に出向いたり、家族等からの相談等にも継続して対応されており、関係性が継続されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	各ユニットに緊急時対応マニュアル、緊急時の連絡フローチャートを設置しております。ミーティングや研修では、緊急時の対応を確認し、職員が対応できるように努めております。		

自己	第三者	項　目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防訓練・防災訓練を実施しております。災害時の対応について研修会に参加したり、ミーティングでも避難時の課題について話し合っております。建物の上階への避難できるよう、上階の企業にもご協力いただいております。	飲料水・食料品・消耗品・備品等の備蓄が設置されています。施設内訓練の実施と、外部研修への参加もあります。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の来歴や性格等、出来る限りご本人様やご家族様からお話を伺ったり、専用シートに記入いただいております。利用者様の人格を理解し、その方に合ったケアに繋がるよう努めております。また、声かけや誘導の際は利用者様の尊厳を損ねぬよう心がけております。	チェックリストにより、職員自身が自らの介護を振り返る機会が設けられています。利用者の尊厳を守るための施設内研修が行われています。声かけや誘導時には、利用者の尊厳を損ねる事がないよう、羞恥心を抱かせる事が無いよう留意されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様とよく会話し、親しみのある関係性を気付き、ご本人様の思いや希望を伝えやすい環境づくりを行っております。意思表示の難しい方には、選択肢を提案し、顔の表情やうなづき等からご希望を伺っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の生活のリズムや体調を優先し、無理されることがないよう心がけております。会話を通し、利用者様の本当の思いを汲み取りながら支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の整髪や入浴後のスキンケア、洋服選びなど会話しながらお手伝いしております。ご希望の方には訪問美容でヘアカラーや顔そりをしていただいております。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様のADL低下や高齢化により、以前に比べ、一緒に作業していただく機会が少なくなっております。できる方には、食材の皮むきや、テーブル拭きを行っていただいております。日曜日には手作りのお食事で見た目でも楽しんでいただけるよう、工夫しております。	季節を意識した献立となるよう留意されています。日常は、昼友配食を利用されていますが、日曜日には手作りの食事を提供されており、利用者も一緒に下ごしらえから参加し、役割を持って楽しみながらすごせる機会になっています。	家族等も含めた、食を楽しめる機会の拡充に期待します。

自己	第三者	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の状況に応じ食事の形態や種類を変更しております。一度に摂取出来ない方は数回に分けて、提供しております。水分摂取が減少している方には、飲み物の種類をかえたり、ゼリーを試しております。栄養・水分が極端に少ない方には医療機関に相談し、点滴・高カロリーゼリー等で対応しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎朝、寝る前には歯磨きや義歯のケアを職員と共に実施しております。また、ご希望者や歯の状態の維持が難しい方には訪問歯科をご案内しております。		
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の有無や時間をチェック表に記入しております。記入することで一人ひとりの排泄パターンや習慣が把握でき、トイレ誘導やパット交換等に役立ち、排泄の失敗やオムツの使用を減らせております。また、清潔保持にも繋がっております。	利用者が少しでも長く、トイレでの排泄自立が継続できるよう留意されています。オムツ利用が最小限となるよう、誘導や声かけによる排泄支援に努められています。声かけや誘導時には、利用者が羞恥心を抱いたりしないよう配慮されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便日時や回数を記録し、便秘の際は医師・看護師にも相談、アドバイスをいただきながら、お薬・運動・トイレ習慣・お食事の見直しを行っております。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様のご希望や体調を優先に、午前午後にわけてご入浴いただいております。快く入浴していただける様、時間やお声かけのタイミング等工夫しながら、無理強いしないようにしております。利用者様の羞恥心・恐怖心に配慮し、同性介助に努めております。	入浴は、特に計画で行う事無く、利用者の意向や体調を踏まえた、柔軟な入浴対応で、週2～3回の入浴機会が確保されています。入浴時は、利用者がリラックスして過ごせるよう留意されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のご希望や体調により、時間に関係なく、無理なく居室で休んでいただいております。ご自身で判断の難しい方には、様子観察しながら声かけをさせていただいております。		

自己	第三者	項目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局と連携し、薬の把握に努めております。職員間でも薬情を使用し、薬の薬効効能・服薬時間を共有しております。特にお薬の変更や減量増量の際は症状の変化を注意深く観察し、症状の把握に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の趣味やお得意な事をお聞きし、レクリエーションに取り入れるようにしております。現在は利用者様の好まれる、色塗り、トランプ、編み物、歌、数独などのゲームを取り入れております。天候の良い日は散歩や買い物にお連れし、気分転換していただいております。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候の良い日は、散歩や買い物にお連れしております。遠出やお墓参り、ご家族の行事ごとなどに関しましては、ご家族様にお願いをしております。お出かけ先で困らぬよう、家族様と事前の打ち合わせを行い、必要な介助方法の伝達や、持ち物、事前のトイレ等の準備をさせていただいております。	地域の社会資源を活用した、買い物外出もあります。近隣公園への散歩等があり、公園では子どもと触れあう機会もあります。家族等との外出・外食・外泊が再開されており、利用者も楽しみにされています。利用者が外気に触れ、日光を受けられる機会を確保できるよう努められています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の出来る利用者様は少なく、基本的にお小遣いを施設でお預かりし、必要な分のみご使用いただいております。お手元にあることで安心される利用者様には、リスクも承知していただき、家族様やご本人様がご納得いただける金額を所持していただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎのお手伝いをさせていただいております。連絡してほしいと、ご希望があれば、家族様に伝えさせていただいております。ご友人やご家族様からの郵便物は、利用者様にお渡しし、いつでも読み返せるよう、目の届くところにおかせていただいております。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁面飾りは季節ごとに、利用者様と職員が共同で作成した物を掲示しております。完成品の前で記念撮影してご家族様にお送りしています。また、共用空間には利用者様の生活の妨げになる物は置かず、毎日清掃しております。	共用空間は、温度・湿度・換気に留意し、日々、清掃と消毒を行い、清潔維持に留意されています。壁面には、利用者と一緒に制作した、季節に応じた装飾等が行われています。ユニット間での利用者交流もあり、普段とは少し雰囲気が変わった過ごし方も、楽しまれています。	

令和8年度　みのりグループホーム城陽

自己	第三者	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席の配置は利用者様が過ごしやすいよう都度、変更しております。その時の状態や、状況を様子観察し、利用者様が無理なく過ごされるよう心がけております。		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、馴染みのある家具・家電・衣服などを持ちいただいております。また、ご家族の写真や、仏具、ぬいぐるみ等、ご利用者様の心のより所になる物を配置される方もおられます。	利用者の動線を考慮した室内配置となるよう留意されています。居室内には、利用者個々が、想いのある品や趣味の品等を自由に持ち込まれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の身体状況に応じたお部屋の配置にしております。利用者様の動線には物を置かず、居室には利用者様のネームプレートをかけ、どのお部屋かわかりやすくするなど、安心して移動していただけるようにしております。		

（様式2（1））

事業所名　みのりグループホーム城陽

作成日：令和 8 年 11 月 18 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	利用者様の体力や体調、状況等により外出が難しくなってきております。ご利用者様やご家族様が施設内で交流出来る機会を増やし、利用者様の楽しみを増やす必要があります。	ご利用者様、ご家族様、職員が食を通して交流できる機会を設ける。	ご利用者様のご家族様にも参加いただけるお茶会や催しを協議・企画いたします。	12か月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。